

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)

【公開番号】特開 2003-221575 (P2003-221575A)  
 【公開日】平成 15 年 8 月 8 日 (2003.8.8)  
 【出願番号】特願 2002-23183 (P2002-23183)  
 【国際特許分類第 7 版】  
     C 0 9 K     3/10  
 【F I】  
     C 0 9 K     3/10                   G

【手続補正書】  
 【提出日】平成 17 年 1 月 5 日 (2005.1.5)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】請求項 1  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【請求項 1】

架橋性シリル基含有有機重合体 (A) と、1 分子中に 2 つ以上の 1 級アミノ基を有し、炭酸ガスとの反応が、20、60% RH の大気中において 24 時間で、10% 以上 (アミノ基を基準) である脂環式、ヘテロ環および芳香環からなる群より選択される少なくとも 1 つを有するアミン化合物 (B) とを含有するシーリング材組成物。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0006  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0006】

(1) 架橋性シリル基含有有機重合体 (A) と、1 分子中に 2 つ以上の 1 級アミノ基を有し、炭酸ガスとの反応が、20、60% RH の大気中において 24 時間で、10% 以上 (アミノ基を基準) である脂環式、ヘテロ環および芳香環からなる群より選択される少なくとも 1 つを有するアミン化合物 (B) とを含有するシーリング材組成物。

【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0014  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【0014】

【発明の実施の形態】

以下に、本発明のシーリング材組成物について詳細に説明する。

本発明のシーリング材組成物は、架橋性シリル基含有有機重合体 (A) と、1 分子中に 2 つ以上の 1 級アミノ基を有し、炭酸ガスとの反応が、20、60% RH の大気中において 24 時間で、10% 以上 (アミノ基を基準) である脂環式、ヘテロ環および芳香環からなる群より選択される少なくとも 1 つを有するアミン化合物 (B) とを含有するシーリング材組成物である。

【手続補正 4】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0025



## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0025】

上記アミン化合物（B）は、1分子中に2つ以上の1級アミノ基を有し、炭酸ガスとの反応が、20、60%RHの大気中において24時間で、10%以上（アミノ基を基準）である脂環式、ヘテロ環および芳香環からなる群より選択される少なくとも1つを有するアミン化合物である。

ここで、炭酸ガスとの反応が、20、60%RHの大気中において24時間で、10%以上（アミノ基を基準）であるとは、アミン化合物150mgを2cm<sup>2</sup>の広さにひろげた後、20、60%RHの大気中において放置し、下記式（6）に示す炭酸ガスとの反応によるカルバミン酸の生成収率が、24時間で10%以上であるということである。